



大北小だより

<http://www.ooizumi-n-e.nerima-ky.ed.jp>

1月号

平成27年 1月 8日

練馬区立大泉北小学校

校長 小島 英樹

希望を託して

校長 小島 英樹

新春の箱根駅伝。今年も数々のドラマに心を動かされました。有名無名を問わず走る選手の思いはひとつ、母校の名を記したたすきを途切らせずゴールへつなぐこと。胸にかけたたすきには、出場した10名の選手はもちろん、一緒に練習を重ねてきたチーム全員の熱き思いが凝縮しています。

そればかりか、歴代の先輩たちや同じ学び舎を巣立った多くの卒業生たちにとっても、それは郷愁と期待と希望のしるしです。だから、たとえ呼吸が乱れ、足がもつれ、意識がもうろうとしても、絶対にあきらめず重い足を前へと踏み出すのです。母校とは、それほど大きな存在です。

さて、大泉北小学校は、昨年、開校40周年の節目を迎え、12月6日には数多くのご来賓と保護者の皆様、さらに歴代校長を始め多くの旧職員を迎えて、盛大に記念式典・祝賀会を挙行することができました。在校生を代表して式典に参列した6年生は、その立派な態度と澄み切った歌声とで会場全体を感動の渦に包んでくれました。6年生一人一人の姿こそ、大北小40年間の確かな歩みであり、教育の成果そのものです。

その基盤が、3年前に作成した「大北小スタンダード」です。授業や学校生活における基礎的・基本的なルールを1年生から6年生まで、すべての学年・学級で共通指導し、大北小全体で身につけさせます。教員はもちろん、大北小のすべての職員が一致して子供たちに声をかけ、よいことは褒め、だめなことはきちんと注意し、指導します。

しかも「大北小スタンダード」は、毎年、全教員で検証し、新たな内容を加えたり改善したりして、さらによりよいものへと高めていきます。全校朝会や避難訓練での集合・整列がすばやくなり、最後まで黙って話が聞けるようになり、靴箱の中の靴のかかどがきちんとそろうようになり、校内で元気のよい挨拶の声が響くようになり、授業の始まりや終わりの挨拶がきちんとできるようになり、職員室で用件を伝える言葉遣いが正しく言えるようになるなど、「大北小スタンダード」による成果は着実に表れています。

大北小で学ぶすべての子供たちが、一生の財産として身に付けられるように「大北小スタンダード」を継承し、50周年、100周年へと駅伝のたすきのように引き継がれていくことを願っています。

「どんど焼き集会」

特活主任 丹呉 早由美

1月15日(木)1校時に「どんど焼き集会」が校庭で行われます。「日本古来の伝統行事であるどんど焼きを体験すること」「異年齢集団での交流を深めること」をねらいとしています。

当日は、代表委員会が司会をしてどんど焼きの由来を聞かせてくれたり、和太鼓クラブが迫力のある演奏をしてくれたりします。

校庭の中心に作られたどんど焼きの山の炎を囲んで、けやき班で楽しく遊びます。

研究だより（低学年）

2年3組担任 城戸 律雄

2年生は、12月10日に走・跳の運動遊び「ジャンプランドを楽しもう」の研究授業を行いました。低学年では、「助走を付けて片足で踏み切り、上方や前方に跳んだり、片足や両足で連続して跳んだりすることができるようにする。」ことを技能面の目標にしています。

授業では、子供たちが意欲的に活動できるように、4つの活動場所を設定しました。単元の前半では、道具の使い方や跳ぶ時のルールを学びました。それぞれの場所での跳び方を学習した後、単元の後半で、自分たちで跳び方を工夫した「ジャンプランド」をつくりました。その活動の中で、自分たちの工夫した跳び方を紹介し合ったり、友達同士で励まし合ったりしました。研究授業当日は、どの子ども息が切れるほど元気に活動していました。今回の授業を跳ぶ遊びの楽しさを知る機会とし、さらに跳ぶ運動の技能向上に繋がっていくように、これからも指導していきたいと思えます。



▲準備体操《足じゃんけん》



▲工夫した準備「どのくらいの距離にする？」



▲連続したジャンプ「ケンパ、ケンパ！」



▲遠くまでジャンプ「やった！跳べたぞ！」



▲高くジャンプ「エイ、ヤア！」



▲高くジャンプ「とどくか？」

開校40周年記念児童集会



1・2年

加藤 万知

大泉北小学校の40歳のおたんじょうびを祝うおみこしを作りました。牛乳キャップに銀紙を巻いて貼り付けた豪華なおみこしと、白いお花紙でホイップクリームを貼ったケーキのおみこしです。せんすと鈴をもって会場を練り歩くかけ声隊の子たちを中心に、元気よくお祭りを盛り上げました。



3年

星屋 良広

3年生は「森の子守歌」「まほうのチャチャチャ」の2曲と、呼びかけの言葉で大泉北小学校の40周年を祝いました。大勢の前でリコーダーを披露したり、打楽器を演奏してみたりと、初めてのことも多かった3年生ですが、明るく元気に発表することができました。

4年

高橋 諒

「ウィーアー」の合奏で大北小の40周年を祝いました。いろいろな楽器を使っでの演奏でしたが、楽器の出し入れなど準備も自分たちで行いました。テンポの速い曲でしたが、子供たちは指揮の林先生をしっかり見て心一つにして迫力のある演奏をすることができました。

5年

谷内 あい

5年生は大北小に関係のあるクイズと自分たちで作った詩を群読しました。大北小についての知識を楽しく伝えることができました。ここで問題。

どろんこ山の誕生日はいつでしょう。

①5月5日②12月12日③3月3日

答えは子供に聞いてください。

6年

生方 佳世

40周年記念集会では、式典で行う呼びかけや歌を1年生から5年生に披露しました。下級生と一緒に祝いし、喜びを分かち合う集会を通して、全校児童の熱い思いを実感し、大北小の代表として「開校40周年記念式典」に参列するという自覚や責任をもつことができました。

1 月行事予定表

◎今月の生活目標:進んであいさつをしよう みんなで使う物を大切にしよう
忘れ物をしないようにしよう

日	月	火	水	木	金	土
4	5	6	7	8 登校日 全校朝会 4 時間授業	9 給食始	10 土曜授業公開 (月曜時間割) 防災授業 5 年
11	12 成人の日	13 計測 6 年 安全指導	14 避難訓練(火事) 校内書き初め展 (15日~23日)	15 どんど焼き集会 (けやき班遊び) 計測5年	16 B時程 計測4年	17
18	19 全校朝会 計測3年 委員会	20 計測2年	21 給食委員会集会	22 マラソン大会 (6, 1, 3 年) 2~4 校時	23 マラソン大会 (5, 2, 4 年) 2~4 校時	24
25	26 全校朝会 クラブ(3年生 見学) 計測 1 年	27 社会科見学6年	28 児童集会(節分)	29 マラソン大会予 備日 (6, 1, 3 年)	30 新 1 年保護者会 マラソン大会予 備日 (5, 2, 4 年)	31

忘れ物を取りに来る

前から感じていたのですが、大北小は学校に忘れ物を取りに来る児童が多いです。忘れ物を取りに来た児童は、職員玄関から入り、主事室前に置かれた児童受付名簿に記名し、施設管理員に教室までついて行っていただきます。受付名簿は、1枚に19名記入することができます。その紙が、2日~5日ほどでいっぱいになります。1日に3~10名の児童の忘れ物対応を施設管理員がしているのです。

忘れたことの責任を取り、学校に取りに来ることは、価値のあることでしょうが、なくて困るという経験も必要です。

児童受付名簿の印刷枚数が減ることを期待しています。

新しい仲間

大北小に新しい仲間が加わりました。3本のカエデの木です。大北小は、運動会の際に、桜の木のおかげで児童席は、ほぼ日陰になります。しかし、白組の端は、一部日陰に入り切れない場所があります。昨年の運動会では、児童を全員日陰に入れるべく、中心をずらしました。今回、その位置に日陰を作るための植樹をしました。開校40周年記念植樹というわけではないのですが、結果としてそうになりました。この木が枝を伸ばし、やがて大きな日陰を作ってくれることを期待しています。

お願い

欠席等の連絡は、電話ではなく連絡帳でお願いします。

副校長通信

クレームのお電話

副校長 城崎 真

「道路上で長時間にわたり遊んでいる子供3~4人。ボール遊びやスケートボードで大声を上げ、奇声ともとれる騒ぎが延々と続いている。保護者は、見ているのに容認している。学校で注意してほしい。」という内容です。

大北小には、校庭開放があります。校庭なら少しぐらい騒いでも大丈夫。スケートボードはできませんが、ボール遊びなら思い切りできます。もしかしたら、友達が来ているかもしれません。上級生と一緒に遊んでくれるかもしれません。校庭開放をみんなで利用しましょう。